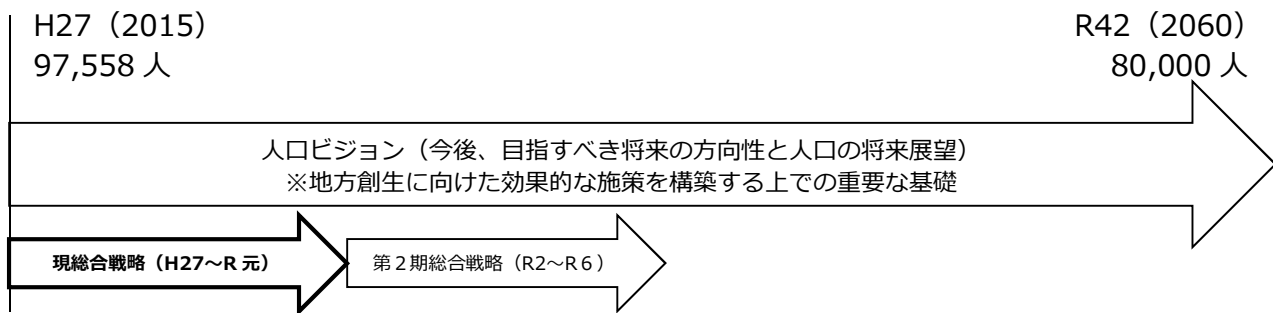


島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略について

◆人口ビジョンと総合戦略の位置づけ



◆島田市の人口推計の状況

- 国立社会保障人口問題研究所の人口推計では、H25年推計とH30年推計と比較し、**人口減少のペースが緩和**。

項目	H27 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)
人口ビジョン (A) ※H25 社人研推計	97,558	94,352	90,638	86,618	82,367	77,930	73,411
H30 社人研推計 (B)	98,112	95,376	92,017	88,294	84,297	80,013	75,586
(B) - (A)	554	1,024	1,379	1,676	1,930	2,083	2,175

◆自然動態

- 出生数は減少傾向、一方で、死亡者数は概ね1,200人前後で推移、「**自然減**」が続いている。

項目 (年度)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
出生数 (A)	724	722	700	675	655
死亡者数 (B)	1,171	1,164	1,141	1,249	1,182
自然増減 (A) - (B)	▲447	▲442	▲441	▲574	▲527

※【静岡県人口推計市区町別推計人口動態表】より

◆社会動態

- 年度によって増減はあるものの、転入者、転出者ともにほぼ横ばいで推移している中、平成30年度は164人の**転入超過**となった。

項目 (年度)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
転入者 (A)	2,683	2,681	2,644	2,534	2,707
転出者 (B)	2,749	2,758	2,569	2,812	2,534
社会動態 (A) - (B)	▲66	▲77	75	▲278	164

- 全体としては転入超過ではあるが、年代別に見ると、0歳から9歳及び30歳から39歳の年代においては、それぞれ380人、307人と、**5年連続で転入が転出を上回る「転入超過 (社会増)」**となっている。

項目 (暦年)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
全体 (転入 - 転出)	▲71	▲63	17	▲252	40
0～9歳	59	82	71	65	103
30～39歳	49	74	86	6	92